

令和7年度 第2回 丹波市立竹山小学校 学校運営協議会

日時: 令和8年2月14日(土)

場所: 丹波市立竹山小学校 会議室

1 開会

2 あいさつ(高橋運営協議会委員長)

3 報告事項

令和7年度丹波市コミュニティスクール推進フォーラムにおいて竹山小学校運営協議会の実践を報告しました



4 協議事項

(1) 令和7年度竹山小学校のとりくみについて

担当からの児童・保護者・教職員の学校評価アンケート結果に基づいた説明にご意見を頂いた。

【学習面、竹山学】

- ・授業参観ではタブレットの活用が進んでいて、授業の様子も以前の一斉授業とは違った形で子どもたち一人ひとりの頑張りがみえる。
- ・両地域の教材をもとに防災教育をはじめ、自然のよさや地域のよさを学ぶ機会があることが、「地域のことが好き」の高い値に繋がっている。
- ・田植えなどの体験を通して、子どもたちが協力し合っている姿に心を打たれたり、元気をもらったりしている。
- ・最近さまざまな事件を目にする中で、命の尊さを感じる学習が大切だと感じている。

【子どものSNS・情報モラル教育】

- ・学校でのモラルについての取組だけでは、限界があると感じる。保護者や家庭がフィルタリングなどのリスク管理はもちろんのこと、大人がSNSとの付き合い方でお手本となる姿を示していくことが大事である。
- ・SNSに関しては、大人も子どもも自律する力が必要である。与える時期や与え方を考えることも大事だが、アンケートにあったきまりを家庭で一緒に決めて守っているか見守っていくことが大事である。

【あいさつ】

- ・朝の登校の様子を見る中では、子どもたちは挨拶を返してくれる子がほとんどである。
- ・地域や保護者など大人が挨拶をし合って、地域全体で挨拶が飛び交う地域づくりをすることが、子どもによい影響を与えるように感じる。
- ・スクールバスになり、子どもの姿を見る機会が減ったことで、子どもの様子が分かりにくくなってきた。
- ・子どもたちの挨拶に対して先生たちの評価が低いのは、先生方の目指すところが高いこともあるのではないかと。→ご指摘の面もあると思うが、玄関先での先生方との朝の挨拶で言えば、先生方は毎日元気な声で自分から挨拶したり、子どもたちからいい声が返ってきたりする、そんな学校にしたいと思っている。挨拶の声元気な学校、通いたい学校のバロメーターになればと考えている。
- ・地域全体で挨拶に取り組んでいきたい。

【地域イベント・地域とのつながり】

- ・準備に関わった人たちの熱量がすごかった。

- ・子どもたちからは継続してほしいとの意見をたくさん聞いている。
- ・多くのボランティアに支えられたので、その輪を広げること、運営協議会が一緒になって関わる人を広げて、一緒にやろうと言う人や学校・子どもたちに関わる人を増やしていけるように取り組んでいきたい。

(2) 来年度の改修工事について説明をし、引っ越し作業や施設の活用について協力をお願いした。

- ・自治振興会をはじめ、様々な方々より、施設活用や引っ越し作業の協力を快く返事を頂いた。
- ・また、来年度統合加配教員が解消する中で、入学当初の1年生へのボランティアをお願いした。

(3) 来年度の学校経営方針へ 2つのコンセプト「じりつ(自律・自立)」と「共生」

- ・学校経営方針の方向性について了解を頂くとともに、子どもたちを下支えする保護者・地域のめざす姿についても協力をいただける体制づくりを図っていった。

(4) 来年度の竹山小学校学校運営協議会委員の選考について今後の方向性を説明をした

5 閉会(教頭)